

若年性認知症 ハンドブック

若年性認知症と診断された
本人と家族が知っておきたいこと



【改訂3版】

はじめに



「認知症」というと高齢者の病気と思われがちですが
65歳未満でもなることがあります

若いのに「認知症」と言われたらどうでしょう

まだ 現役で仕事をしています

配偶者も若く 仕事をしている方もいます

子供も独り立ちしていないかもしれません

「若年性認知症」と診断され 治療が始まって

不安や焦りは消えるどころか

ますます大きくなっていくでしょう

どうしていいのかわからない

どこに だれに相談したらいいのかわからない

どうか この冊子に目を通してください

あなたがたに安心していただくためのハンドブックです

若年性認知症 ハンドブック

若年性認知症と診断された
本人と家族が知っておきたいこと



目次

➡ 若年性認知症と診断されました

- ▶ これからどうしたらよいでしょう？(相談窓口) ————— 5-6
- ▶ 働ける職場はありますか？(障害者雇用、障害者手帳) ————— 7
- ▶ 同僚(部下)が認知症ではないか心配です ————— 8
- ▶ 会社に勤務していますが、どのような制度が利用できますか？ ————— 9-10
(自立支援医療、傷病手当金、年金)
- ▶ 会社を退職したときや、退職後はどのような支援が受けられますか？ ————— 11-12
(雇用保険、住宅ローン、生命保険)
- ▶ 退職後、本人が「仕事をしたい」といいます(就労継続支援事業) ————— 13-14

➡ 若年性認知症とはどんな病気？

- ▶ 若年性認知症とはどんな病気なのでしょう？ ————— 15
- ▶ なぜ診断が遅れてしまうのでしょうか？ ————— 16
- ▶ アルツハイマー型認知症はどんな病気ですか？ ————— 17-18
- ▶ 血管性認知症はどんな病気ですか？ ————— 19-20
- ▶ 前頭側頭型認知症はどんな病気ですか？ ————— 21-22
- ▶ レビー小体型認知症はどんな病気ですか？ ————— 23-24
- ▶ 高齢者の認知症とはどう違うのですか？ ————— 25-26

➡ 認知症と診断された人や子供たちの思いについて

- ▶ 認知症と診断された人はどのような思いをしているのでしょうか？ ————— 27-28
- ▶ 認知症の人の家族の心はどのように変化していくのでしょうか？ ————— 29-30
- ▶ 若年性認知症の親を持つ子供たちはどのような思いをしているのでしょうか？ — 31-32

➡ 日常生活について

【日常生活での工夫】

- ▶ 認知症の症状に対して、家庭でできる工夫はありますか？ ————— 33-34

【車の運転について】

- ▶ 車の運転をやめてもらうにはどうしたらよいのでしょうか？ ————— 35
- ▶ 認知症の人の運転に対する家族の対応 ————— 36

【困ったときの対応について】

- ▶ 外に出て行ってしまいます ————— 37
- ▶ 物盗られ妄想があります ————— 38

➡ 医療機関の選び方

- ▶ どのような医療機関にかかればよいですか？ ————— 39
- ▶ 病院ではどの科を受診すればよいのでしょうか？ ————— 40
- ▶ 受診の際の注意点 ————— 41
- ▶ 介護サービスを使えますか？ ————— 42

➡ 治療薬について

- ▶ 病院で処方された認知症の治療薬について教えてください ————— 43-44

➡ 社会制度やサービス、相談窓口について

- ▶ 介護保険制度 ————— 45-46
- ▶ 成年後見制度 ————— 47
- ▶ 相談窓口 ————— 48-49
- ▶ サービス等の申請先 ————— 50